



2025年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2025年5月9日

上場会社名 イサム塗料株式会社
コード番号 4624 URL <http://www.isamu.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北村 倍章

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 糸洲 治夫

TEL 06-6453-4511

定時株主総会開催予定日 2025年6月27日

配当支払開始予定日

2025年6月30日

有価証券報告書提出予定日 2025年6月27日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2025年3月期の連結業績(2024年4月1日～2025年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	8,157	2.0	628	2.8	767	1.6	549	5.5
2024年3月期	7,995	5.2	645	20.2	755	18.3	520	19.1

(注) 包括利益 2025年3月期 563百万円 (24.8%) 2024年3月期 748百万円 (44.4%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	288.00		3.2	3.7	7.7
2024年3月期	272.88		3.2	3.7	8.1

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 百万円 2024年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	20,887	17,640	82.5	9,037.75
2024年3月期	20,763	17,179	80.8	8,800.96

(参考) 自己資本 2025年3月期 17,222百万円 2024年3月期 16,772百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	486	331	109	3,472
2024年3月期	798	707	106	3,426

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期		25.00		25.00	50.00	95	18.3	0.6
2025年3月期		25.00		25.00	50.00	95	17.4	0.6
2026年3月期(予想)		25.00		25.00	50.00		17.0	

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,100	1.5	315	8.3	384	7.8	276	11.5	144.84
通期	8,320	2.0	638	1.7	778	1.5	560	2.0	293.88

注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期	2,000,000 株	2024年3月期	2,000,000 株
期末自己株式数	2025年3月期	94,439 株	2024年3月期	94,319 株
期中平均株式数	2025年3月期	1,905,621 株	2024年3月期	1,905,923 株

(参考) 個別業績の概要

2025年3月期の個別業績 (2024年4月1日 ~ 2025年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	7,689	2.3	436	0.6	590	5.4	447	7.9
2024年3月期	7,515	5.1	434	31.1	560	24.4	415	24.3

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期	234.63	
2024年3月期	217.50	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	17,924	14,939	83.3	7,839.75
2024年3月期	17,969	14,591	81.2	7,656.60

(参考) 自己資本 2025年3月期 14,939百万円 2024年3月期 14,591百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。上記業績予想に関する事項につきましては添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	11
(表示方法の変更)	12
(連結貸借対照表に関する注記)	13
(連結損益計算書に関する注記)	13
(連結包括利益計算書関係)	14
(連結株主資本等変動計算書関係)	14
(連結キャッシュ・フロー計算書関係)	15
(セグメント情報等の注記)	16
(1株当たり情報)	19
(重要な後発事象)	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益は総じて緩やかに改善の動きがみられました。個人消費、設備投資に持ち直しの動きが、雇用情勢には改善の動きがみられ、景気全体は緩やかに回復しております。

一方で世界の景気は、一部の地域において足踏みがみられるものの、持ち直しの動きがみられますが、中東情勢や欧米における高い金利水準に伴う影響、物価上昇等による下振れリスクがあります。わが国においても、原材料価格やエネルギー価格の高止まり、企業物価指数や消費者物価指数の高止まり、自然災害や物価上昇の継続による消費マインドの下振れなどが懸念され、当社グループを取り巻く環境は予断を許さない状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、一定の販売数量を確保し、自動車補修用市場でのシェアの拡大を図るため、顧客ニーズに沿った環境対応型塗料や高機能性塗料で販路拡大に注力するとともに、大型車両分野や工業用分野などの新規市場開拓や建築用塗料の受注拡大に向け、営業活動を展開いたしました。また、原材料価格、エネルギーコスト、人件費等の上昇分を吸収すべく、販売数量が厳しい中、収益向上のための人材確保ならびに人材育成、業務効率化に注力しながら、収益確保に努めてまいりました。

その結果、当連結会計年度の売上高は、81億57百万円（前年同期比2.0%増加）となりました。利益面につきましては、営業利益は6億28百万円（前年同期比2.8%減少）、経常利益は7億67百万円（前年同期比1.6%増加）、親会社株主に帰属する当期純利益は5億49百万円（前年同期比5.5%増加）となりました。

①塗料事業

売上高は、80億55百万円（前年同期比2.0%増加）、営業利益5億83百万円（前年同期比3.1%減少）であります。

分野別の販売状況は、自動車補修用塗料分野では、特化則対応、P R T R法対応の1液ベースコート「ハイアートNext」やハイソリッドクリヤー「アクセルクリヤー」シリーズで市場占有率の維持を図るとともに、特殊ウレタン樹脂をベースとした2液型塗料「ベッドライナービースト」で新規ユーザーの獲得に努めました。併せて、水性1液ベースコート塗料「アクアスDRY」では主力ユーザーへの普及促進を行うとともに、水性塗料の安全性を維持しつつ作業効率の改善と作業者の負担軽減を実現した水性1液ベースコート塗料「CRONOS HD」で新規ユーザー獲得に注力しました。大型車両分野では、トラック荷台床面の木部保護塗料「ウッドプロテクト」、特化則対応、P R T R法対応の2液ウレタン樹脂塗料「ハイアートCBエコ」でユーザー獲得に注力し、堅調に推移いたしました。さらに、調色作業を標準化・システム化した測色機「彩選短スマート」の販売を促進し、ユーザーの作業効率改善や若年者の技術教育に大きく貢献いたしました。

建築用塗料分野におきましては、主力の「ネオシリカ」シリーズに加え、J I S A 6 0 2 1取得の外壁用塗膜防水材「アトロンエラストマー」、抗ウイルス性、抗菌性、抗カビ性、消臭性に優れた内装用光触媒塗料「エアフレッシュ」など、各種用途に特化した製品を展開いたしました。また、タイル床面等滑り止めの「スキッドガードシリーズ」では、高耐久性を実現した無溶剤2液型ウレタン樹脂塗料「スキッドガードTOUGH」、水性1液型アクリル樹脂塗料「スキッドガードAQUA」の販売促進に取り組みました。

工業用塗料につきましては、ユーザーの環境重視志向を背景に「ハイアートCBエコ」の拡販に注力するとともに、従来の水性塗料と比較して乾燥性・光沢を大幅に向上させた水性1液型アクリル樹脂塗料「アクアシャインGA」において、引き続き個々のユーザーに対応して積極的な個別営業活動に取り組みました。

エアゾール分野におきましても、工業用向けでは、補修用スプレー「エアラッカーエコ」の売上が堅調であったほか、D I Y分野では、2液内部混合型エアースプレー「エアウレタン」、1液カラークリヤー「キャンデーカラー」が堅調に推移しました。

②その他

売上高は、1億2百万円（前年同期比1.1%増加）、営業利益45百万円（前年同期比1.5%増加）であります。

(2) 当期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末の資産は、前連結会計年度末と比べ1億25百万円増加して208億87百万円となりました。

資産の増加の主なものは、投資有価証券7億6百万円、電子記録債権1億61百万円、商品及び製品1億3百万円、減少の主なものは受取手形3億19百万円、有価証券3億円、現金及び預金2億54百万円であります。

当連結会計年度末の負債は、前連結会計年度末と比べ3億36百万円減少して32億47百万円となりました。

負債の減少の主なものは、電子記録債務2億59百万円、未払金38百万円であります。

当連結会計年度末の純資産は、前連結会計年度末と比べ4億61百万円増加して176億40百万円となりました。

純資産の増加の主なものは利益剰余金4億54百万円であります。

以上の結果、自己資本比率は1.7ポイント上がり、82.5%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、税金等調整前当期純利益7億67百万円、有価証券の売却及び償還による収入6億円、定期預金の払戻による収入3億円などの増加がありましたが、投資有価証券の取得による支出13億4百万円、仕入債務の減少2億31百万円、法人税等の支払額2億28百万円などがあり、全体として期首残高より46百万円増加し、34億72百万円(前連結会計年度末34億26百万円)となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は4億86百万円(前連結会計年度7億98百万円)となりました。

その主な要因は、増加した資金では、税金等調整前当期純利益7億67百万円、売上債権の減少1億55百万円、減少した資金では、仕入債務の減少2億31百万円、法人税等の支払額2億28百万円、棚卸資産の増加1億44百万円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は3億31百万円(前連結会計年度7億7百万円)となりました。

その主な要因は、増加した資金では、有価証券の売却及び償還による収入6億円、投資有価証券の売却及び償還による収入3億円、定期預金の払戻による収入3億円などがあり、減少した資金では、投資有価証券の取得による支出13億4百万円、有形固定資産の取得による支出2億13百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は1億9百万円(前連結会計年度1億6百万円)となりました。

その主な要因は、配当金の支払額95百万円などによるものであります。

(3) 今後の見通し

今後の経済の見通しにつきましては、ウクライナ情勢の長期化や中東情勢の影響による原油価格をはじめとするエネルギー価格の動向、物流・運送業界をとりまく2024年問題の顕在化、通商政策など米国の政策動向がわが国経済に与える影響が見通せず、先行きは極めて不透明な状況であります。

当社グループを取り巻く状況も予断を許しませんが、引き続き、原材料価格、エネルギー価格や物流コスト、人材確保・育成に係る人件費の上昇に対処すべく、生産効率化、業務効率化に注力し、販売シェア・販売数量を維持・拡大することで収益確保に繋げてまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,336,131	4,082,339
受取手形	※2 830,873	511,751
電子記録債権	※2 464,506	625,879
売掛金	1,032,965	1,035,684
有価証券	900,000	600,000
商品及び製品	962,103	1,065,549
仕掛品	142,483	161,148
原材料及び貯蔵品	236,308	257,923
その他	78,947	57,525
貸倒引当金	△6,407	△6,037
流動資産合計	8,977,909	8,391,761
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,045,758	3,093,369
減価償却累計額	△2,013,439	△2,081,829
建物及び構築物(純額)	1,032,319	1,011,540
機械及び装置	805,877	866,337
減価償却累計額	△623,071	△684,836
機械及び装置(純額)	182,806	181,501
工具、器具及び備品	650,373	709,713
減価償却累計額	△505,079	△554,100
工具、器具及び備品(純額)	145,294	155,613
土地	1,344,467	1,344,467
リース資産	75,459	83,129
減価償却累計額	△61,400	△67,268
リース資産(純額)	14,059	15,861
有形固定資産合計	2,718,945	2,708,982
無形固定資産		
ソフトウェア	23,551	60,004
施設利用権	114	—
電話加入権	6,555	6,555
リース資産	1,938	1,309
無形固定資産合計	32,158	67,868
投資その他の資産		
投資有価証券	6,512,473	7,218,571
長期預金	1,900,000	1,900,000
保険積立金	466,768	430,369
繰延税金資産	137,003	148,652
その他	28,745	32,465
貸倒引当金	△11,415	△11,415
投資その他の資産合計	9,033,574	9,718,642
固定資産合計	11,784,677	12,495,492
資産合計	20,762,586	20,887,253

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	337,416	328,267
電子記録債務	※2 1,492,794	1,234,108
リース債務	6,456	8,152
未払金	219,842	182,311
未払法人税等	131,049	119,709
未払消費税等	43,215	17,465
前受金	4,247	4,214
預り金	87,465	67,497
賞与引当金	114,743	127,996
その他	71,710	80,483
流動負債合計	2,508,937	2,170,202
固定負債		
リース債務	11,177	10,797
長期預り保証金	277,469	281,366
繰延税金負債	49,912	51,415
役員退職慰労引当金	111,896	119,408
修繕引当金	120,000	127,500
退職給付に係る負債	503,847	486,604
固定負債合計	1,074,301	1,077,090
負債合計	3,583,238	3,247,292
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,290,400	1,290,400
資本剰余金	1,210,742	1,212,528
利益剰余金	13,925,782	14,379,326
自己株式	△180,174	△180,548
株主資本合計	16,246,750	16,701,706
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	525,081	520,287
その他の包括利益累計額合計	525,081	520,287
非支配株主持分	407,517	417,968
純資産合計	17,179,348	17,639,961
負債純資産合計	20,762,586	20,887,253

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	7,995,011	8,156,880
売上原価	※2,※3 5,547,044	※2,※3 5,687,836
売上総利益	2,447,967	2,469,044
販売費及び一般管理費	※1 1,802,645	※1 1,841,489
営業利益	645,322	627,555
営業外収益		
受取利息	4,440	7,919
有価証券利息	19,699	34,018
受取配当金	25,845	33,523
受取賃貸料	51,195	52,754
貸倒引当金戻入額	—	370
その他	13,116	13,544
営業外収益合計	114,295	142,128
営業外費用		
支払利息	767	820
支払補償費	3,044	664
その他	1,044	1,491
営業外費用合計	4,855	2,975
経常利益	754,762	766,708
税金等調整前当期純利益	754,762	766,708
法人税、住民税及び事業税	220,306	216,756
法人税等調整額	1,787	△17,800
法人税等合計	222,093	198,956
当期純利益	532,669	567,752
非支配株主に帰属する当期純利益	12,576	18,925
親会社株主に帰属する当期純利益	520,093	548,827

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益	532,669	567,752
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	215,715	△4,794
その他の包括利益合計	※ 215,715	※ △4,794
包括利益	748,384	562,958
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	735,807	544,033
非支配株主に係る包括利益	12,577	18,925

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,290,400	1,210,742	13,500,993	△178,724	15,823,411
当期変動額					
剰余金の配当			△95,304		△95,304
親会社株主に帰属する当期純利益			520,093		520,093
自己株式の取得				△1,450	△1,450
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	424,789	△1,450	423,339
当期末残高	1,290,400	1,210,742	13,925,782	△180,174	16,246,750

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	309,366	309,366	397,988	16,530,765
当期変動額				
剰余金の配当				△95,304
親会社株主に帰属する当期純利益				520,093
自己株式の取得				△1,450
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	215,715	215,715	9,529	225,244
当期変動額合計	215,715	215,715	9,529	648,583
当期末残高	525,081	525,081	407,517	17,179,348

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,290,400	1,210,742	13,925,782	△180,174	16,246,750
当期変動額					
剰余金の配当			△95,283		△95,283
親会社株主に帰属する当期純利益			548,827		548,827
自己株式の取得				△374	△374
連結子会社株式の取得による持分の増減		1,786			1,786
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	1,786	453,544	△374	454,956
当期末残高	1,290,400	1,212,528	14,379,326	△180,548	16,701,706

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	525,081	525,081	407,517	17,179,348
当期変動額				
剰余金の配当				△95,283
親会社株主に帰属する当期純利益				548,827
自己株式の取得				△374
連結子会社株式の取得による持分の増減				1,786
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△4,794	△4,794	10,451	5,657
当期変動額合計	△4,794	△4,794	10,451	460,613
当期末残高	520,287	520,287	417,968	17,639,961

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	754,762	766,708
減価償却費	200,056	211,854
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1,299	7,512
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,254	13,253
修繕引当金の増減額 (△は減少)	7,500	7,500
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,193	△370
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△5,606	△17,243
受取利息及び受取配当金	△49,984	△75,461
支払利息	767	820
売上債権の増減額 (△は増加)	△139,951	155,030
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△34,229	△143,725
仕入債務の増減額 (△は減少)	129,481	△231,242
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△3,698	△25,749
その他	99,275	△27,352
小計	964,119	641,535
利息及び配当金の受取額	47,336	73,559
利息の支払額	△134	△169
法人税等の支払額	△213,171	△228,485
営業活動によるキャッシュ・フロー	798,150	486,440
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△600,000	—
定期預金の払戻による収入	600,000	300,000
有価証券の売却及び償還による収入	1,000,000	600,000
有形固定資産の取得による支出	△179,761	△212,571
無形固定資産の取得による支出	△14,590	△50,640
投資有価証券の取得による支出	△1,824,338	△1,303,535
投資有価証券の売却及び償還による収入	320,000	300,000
保険積立金の積立による支出	△28,671	△24,889
保険積立金の払戻による収入	20,000	60,823
その他	64	72
投資活動によるキャッシュ・フロー	△707,296	△330,740
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の純増減額 (△は増加)	△1,450	△374
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△3,640
リース債務の返済による支出	△6,456	△7,162
配当金の支払額	△95,040	△95,269
非支配株主への配当金の支払額	△3,047	△3,047
財務活動によるキャッシュ・フロー	△105,993	△109,492
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△15,139	46,208
現金及び現金同等物の期首残高	3,441,270	3,426,131
現金及び現金同等物の期末残高	※ 3,426,131	※ 3,472,339

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1. 連結の範囲に関する事項

(1) 連結子会社の数 4社

主要な連結子会社の名称

イサムエアークール工業(株)

明勇色彩(株)

イサム土地建物(株)

進勇商事(株)

(2) 主要な非連結子会社の名称等

主要な非連結子会社

イサムモータープール(株)

(連結の範囲から除いた理由)

非連結子会社は、小規模会社であり、総資産、売上高、当期純損益（持分に見合う額）及び利益剰余金（持分に見合う額）等は、いずれも連結財務諸表に重要な影響を及ぼしていないため、連結の範囲から除外しております。

2. 持分法の適用に関する事項

(1) 持分法適用の非連結子会社数

該当事項はありません。

(2) 持分法適用の関連会社数

該当事項はありません。

(3) 主要な持分法を適用しない非連結子会社及び関連会社名

主要な非連結子会社

イサムモータープール(株)

(持分法を適用しない理由)

持分法非適用会社は、当期純損益（持分に見合う額）及び利益剰余金（持分に見合う額）等に及ぼす影響が軽微であり、かつ全体としても重要性がないため、持分法の適用から除外しております。

3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社の事業年度末日と連結決算日は一致しております。

4. 会計方針に関する事項

(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

イ 有価証券

(イ) 満期保有目的の債券

償却原価法（定額法）を採用しております。

(ロ) その他有価証券

市場価格のない株式等以外のもの

時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は総平均法により算定）を採用しております。

市場価格のない株式等

総平均法による原価法を採用しております。

ロ 棚卸資産

通常の販売目的で保有する棚卸資産

評価基準：原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）

(イ) 製品・仕掛品

総平均法

(ロ) 商品・原材料・貯蔵品

先入先出法

(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

イ 有形固定資産（リース資産を除く）

定率法（ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備は除く）並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法）を採用しております。

なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

建物	10～50年
機械及び装置	8～10年

ロ 無形固定資産（リース資産を除く）及び長期前払費用

定額法を採用しております。

市場販売目的のソフトウェアについては、見込販売数量に基づく減価償却額と残存有効期間（3年）に基づく均等配分額を比較し、いずれか大きい額を計上しております。ソフトウェア（自社利用分）については、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

ハ リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数として、残存価額を零とする定額法を採用しております。

(3) 重要な引当金の計上基準

イ 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

ロ 賞与引当金

従業員に対する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

ハ 役員退職慰労引当金

役員に対する将来の退職慰労金の支出に備えて、役員退職慰労金規程（内規）に基づく期末要支給額を計上しております。

ニ 修繕引当金

イサム土地建物(株)はマンション経営を行っており、将来の定期的な大規模修繕に備えて当連結会計年度において発生していると認められる額を計上しております。

(4) 退職給付に係る会計処理の方法

当社及び連結子会社は、退職給付に係る負債及び退職給付費用の計算に、退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しております。

(5) 重要な収益及び費用の計上基準

当社及び連結子会社は、塗料事業において顧客に対して塗料および関連商品を販売しております。商品及び製品の販売に係る収益は、約束した財が顧客に移転した時点で、顧客が当該財に対する支配を獲得し、履行義務が充足されると判断していることより、当該財の引渡時点で収益を認識しております。

ただし、商品又は製品の国内の販売において、出荷時から当該商品又は製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

また、買戻し契約に該当する有償支給取引については、支給先から受け取る対価を収益として認識しておりません。

(6) 連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

手許現金、要求払預金及び取得日から3ヶ月以内に満期の到来する流動性の高い、容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない短期的な投資からなっております。

(表示方法の変更)

(連結貸借対照表)

前連結会計年度において、「流動資産」の「受取手形」に含めていた「電子記録債権」は、当連結会計年度より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

前連結会計年度において、「流動負債」に表示しておりました「支払手形及び買掛金」は、支払手形の取り扱いがなくなり今後も発生する見込みがないため、当連結会計年度から「買掛金」に表示を変更しております。なお、この表示方法の変更による、前連結会計年度の連結貸借対照表における組替えはありません。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「受取手形」に表示していた1,295,379千円は「受取手形」830,873千円、「電子記録債権」464,506千円として組替えております。

(連結貸借対照表に関する注記)

1 当座貸越契約

当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行2行と当座貸越契約を締結しております。これら契約に基づく連結会計年度末における借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
当座貸越極度額	2,000,000千円	2,000,000千円
借入実行残高	—	—
差引額	2,000,000	2,000,000

※2 連結会計年度末日満期手形、電子記録債権および電子記録債務

連結会計年度末日満期手形、電子記録債権および電子記録債務の会計処理については、手形交換日又は決済日をもって決済処理をしております。なお、前連結会計年度の末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形、電子記録債権および電子記録債務が連結会計年度末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
受取手形	109,401千円	—千円
電子記録債権	42,219	—
電子記録債務	101,099	—

(連結損益計算書に関する注記)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
支払手数料	203,706千円	208,084千円
貸倒引当金繰入額	1,193	—
従業員給料	519,695	523,583
賞与及び賞与引当金繰入額	146,423	161,279
役員退職慰労引当金繰入額	15,365	14,720
退職給付費用	49,789	42,598

※2 当期製造費用に含まれる研究開発費の総額

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
	235,212千円	242,012千円

※3 期末棚卸高は収益性の低下に伴う簿価切下後の金額であり、次の棚卸資産評価損(△は戻入額)が売上原価に含まれております。

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上原価に含まれている棚卸資産評価損	△10,052千円	12,999千円

(連結包括利益計算書関係)

※ その他の包括利益に係る組替調整額並びに法人税等及び税効果額

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
その他有価証券評価差額金：		
当期発生額	311,372千円	2,860千円
組替調整額	—	—
法人税等及び税効果調整前	311,372	2,860
法人税等及び税効果額	△95,657	△7,654
その他有価証券評価差額金	215,715	△4,794
その他の包括利益合計	215,715	△4,794

(連結株主資本等変動計算書関係)

前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

1 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

	当連結会計年度期首 株式数 (株)	当連結会計年度 増加株式数 (株)	当連結会計年度 減少株式数 (株)	当連結会計年度末 株式数 (株)
発行済株式				
普通株式	2,000,000	—	—	2,000,000
合計	2,000,000	—	—	2,000,000
自己株式				
普通株式(注)	93,835	484	—	94,319
合計	93,835	484	—	94,319

(注) 普通株式の自己株式の株式数の増加484株は、単元未満株式の買取りによるものであります。

2 新株予約権及び自己新株予約権に関する事項

該当事項はありません。

3 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配当額 (円)	基準日	効力発生日
2023年6月29日 定時株主総会	普通株式	47,654	25	2023年3月31日	2023年6月30日
2023年11月6日 取締役会	普通株式	47,650	25	2023年9月30日	2023年12月8日

(2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2024年6月27日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	47,642	25	2024年3月31日	2024年6月28日

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

1 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

	当連結会計年度期首 株式数（株）	当連結会計年度 増加株式数（株）	当連結会計年度 減少株式数（株）	当連結会計年度末 株式数（株）
発行済株式				
普通株式	2,000,000	—	—	2,000,000
合計	2,000,000	—	—	2,000,000
自己株式				
普通株式(注)	94,319	120	—	94,439
合計	94,319	120	—	94,439

(注) 普通株式の自己株式の株式数の増加120株は、単元未満株式の買取りによるものであります。

2 新株予約権及び自己新株予約権に関する事項

該当事項はありません。

3 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配当額 (円)	基準日	効力発生日
2024年6月27日 定時株主総会	普通株式	47,642	25	2024年3月31日	2024年6月28日
2024年11月6日 取締役会	普通株式	47,641	25	2024年9月30日	2024年12月10日

(2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2025年6月27日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	47,639	25	2025年3月31日	2025年6月30日

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
現金及び預金勘定	4,336,131千円	4,082,339千円
預入期間が3か月を超える定期預金	△910,000	△610,000
現金及び現金同等物	3,426,131	3,472,339

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの事業セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであり、「塗料」及び「不動産賃貸業」からなりますが、「不動産賃貸業」は重要性がないため報告セグメントの開示は行っておりません。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度（自2023年4月1日 至2024年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント	その他	合計	調整額	連結財務諸表 計上額
	塗料事業				
売上高					
外部顧客への売上高	7,894,028	100,983	7,995,011	—	7,995,011
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,894,028	100,983	7,995,011	—	7,995,011
セグメント利益	601,258	44,064	645,322	—	645,322
セグメント資産	19,811,897	950,689	20,762,586	—	20,762,586
セグメント負債	3,423,833	159,405	3,583,238	—	3,583,238
その他の項目					
減価償却費	189,249	10,807	200,056	—	200,056
有形固定資産増加額	188,511	—	188,511	—	188,511
無形固定資産増加額	14,590	—	14,590	—	14,590

当連結会計年度（自2024年4月1日 至2025年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント	その他	合計	調整額	連結財務諸表 計上額
	塗料事業				
売上高					
外部顧客への売上高	8,054,809	102,071	8,156,880	—	8,156,880
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,054,809	102,071	8,156,880	—	8,156,880
セグメント利益	582,847	44,708	627,555	—	627,555
セグメント資産	19,896,845	990,408	20,887,253	—	20,887,253
セグメント負債	3,078,994	168,298	3,247,292	—	3,247,292
その他の項目					
減価償却費	201,265	10,589	211,854	—	211,854
有形固定資産増加額	186,999	—	186,999	—	186,999
無形固定資産増加額	50,640	—	50,640	—	50,640

【関連情報】

前連結会計年度（自2023年4月1日 至2024年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

塗料事業における外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないためならびに海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自2024年4月1日 至2025年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

塗料事業における外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないためならびに海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自2023年4月1日 至2024年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自2024年4月1日 至2025年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自2023年4月1日 至2024年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自2024年4月1日 至2025年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自2023年4月1日 至2024年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自2024年4月1日 至2025年3月31日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	8,800.96円	9,037.75円
1株当たり当期純利益	272.88円	288.00円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	520,093	548,827
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純 利益(千円)	520,093	548,827
普通株式の期中平均株式数(株)	1,905,923	1,905,621

(重要な後発事象)

該当事項はありません。